

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（参加学生）

平成28年9月22日

所属：医学部 保健学科看護学専攻 学年 3年次
氏名：平山 凌
研修先大学・機関名等（国）：王立ブータン大学保健学科（ブータン）
在籍身分：学生
渡航年月日：平成28年8月6日
帰国年月日：平成28年8月21日

○研修先での学習内容等

- ・首都ティンブーや周辺地域の医療機関見学
- ・大学健康科学院にて学生とともに授業に参加

○研修期間の生活面について

ブータンの気候は、8月で気温20～25度で湿度も低かったことから、過ごしやすい環境でした。食生活の面では、トウガラシをはじめとした香辛料が効いたものが多く慣れない部分もあったが、現地の先生が調節してくれたため、おいしく食べることができました。

○研修期間全般にわたる感想

ブータンでは、マンパワー不足や衛生状態、患者教育や退院支援の不十分さなど発展途上国の医療状態に似た印象を受けました。しかし、医療費や教育費の無償化を続けながら、高齢化に対する医療費削減について考えたり、山間地域のための地域医療に重点を置くなど、人々に寄り添う取り組みが行われているとわかりました。

○今後の勉学計画

- ・英語を話す機会を持つ（ALL ROOM や英語サークルへの参加）
- ・一つ一つの単語を意識して勉強する

